

中古 工具 買取 販売
在庫1000点以上 工具屋本舗 検索
工具屋本舗 ☎0476
 成田市内R408沿い 火曜定休 (37)7277

2020
8/1 2328号

茨城県南版
 次回は 8/22(土) 発行



この街の いいね を届けます
エリート
 情報 *Take Free*



小林由季さんの絵が子どもたちを農業の世界へ誘う

“農業”の楽しさを子どもたちへ 農業女子発 絵本プロジェクト

クラウドファンディングで資金を募る



3人は農業体験などさまざまな企画を実現させてきた。何かをしたいと考えている農業女子の背中を押すきっかけになればという思いもある。



(左から) 横田さん、本多さん、井堀さん

昨年、茨城県内のいくつかの中学校で行った「将来になりたい職業ランキング」で、農家と書いた生徒は一人もいなかったという。「薄々は分かっていた

ことですが、農業の担い手不足という問題を改めて感じました」
 そうした現実を目の当たりにし、行動を起こしたのが龍ヶ崎市の米農家の横田祥さん(横田農場)と牛久でブルーベリー農園を切り盛りする本多恭子さん(文化ブルーベリー)の森、文化ネギ農家の井堀美香さん(しかくいやさい)の3人だ。
 昔より土に触る機会が少なくなってきた子どもたちにとって、農業は遠く存在だ。自分たちが日々作業しながら感じている農業の楽しさや魅力を、絵本を通して子どもたちへ伝えたいと「AGRI BATION PROJECT」を立ち上げた。制作費用はクラウドファンディングで呼びかけている。
 絵本のストーリーは、3人で畑に集まって考えた。それを基につくば市の絵本作家、小林由季さんが形にする。絵本の中には、二次元コードを入れて実際の畑の風景が見られるウェブサイトに仕掛けも検討している。
 米農家の横田さんは、「稲が風に吹かれてそよそよと景色は北海道にいたるみたいですし、春は空一面が水面に映って大変な仕事というイメージがありますけど魅力もたくさんあるんです」と言い、ブルーベリー農園の本多さんは「毛虫は土をフカフカにするなど虫や鳥にもちゃんと役割があります。それは自然の中に入るから感じられること。苦勞もありますが、収穫の喜びですべて消化されます」と続け、文化ネギ農家の井堀さんは「農業を知ることによって自然と食べ物に興味湧き、結果食品ロスや地産地消にもつながるのでは」と期待を込める。
 クラウドファンディングの期間は9月27日(日)まで。返礼品は、農業体験や野菜ボックスなど。詳細は、<https://campfire.jp/projects/view/268178>



さかなクンのギョ 苦楽展

笠間日動美術館

美術館(笠間)のさかなクンの魚の情報が発信して、京海洋大学クンのイラスト。かわい物大のメダカ水性や油性ペンなど自身のおよそ80、9時半、16時半、8月10日、8月11日、65歳以上、70円、校生70円、日動美術館 ☎0202

